

昨日のことだ。停電の影響を受け、最終的に学校は、臨時休校の措置をとった。対応を始めたのは6時過ぎ、台風や大雪に比べると1時間遅いが、それは、停電が不測の事態だったからだ▼校区内が停電しているという第一報を受け、情報収集と並行して対応策を検討する。学校の状況、校区の状況、道路の状況、給食センターの状況。電話とSNSのおかげでたくさんの情報が短時間で集まる▼実働が始まったのは、7時。当初は、通常安全に気を付けて無理せず登校という判断。既に登校した生徒は、教室待機。同時進行で信号の状況を確認していただいた職員による報告と登校指導の依頼▼それぞれの職員ができることを行い、何をしているか、どこにいるのかは、逐一報告が入る。9時30分登校に変更したのが8時。その時点で職員は一旦学校に集合した▼停電の復旧見込みが12時という情報があり、登校の安全確保。トイレの確保の問題。教室の学習環境の課題。この3つの観点から臨時休校を決めたのが、8時50分▼臨時休校に至るまで、またその後の対応のため、主任会、全体会、学年会を何度も繰り返し、情報共有、指示伝達が徹底された▼一連の対応は、あたりまえのことかもしれない。でも、あたりまえのことを粛々とやってのけた職員を誇りに思う。ありがとうございました。保護者のみなさんの理解・協力にも感謝。みんながんばった。

080909-38 あたりまえをあたりまえに